

2015年10月1日
共栄株式会社

『共栄五十年の歩み』(1975年刊)のWeb掲載について

共栄株式会社の社員会誌『ひびき』に掲載された『共栄五十年の歩み』を、Webに掲載します。

概要

弊社初代社長松岡朗(あきら)氏が、前身である共栄商会の創立から語った内容です。『ひびき』14号(1975年)、17号(1976年)、19号(1977年)に掲載されました。

松岡氏は1897年(明治30年)金沢に生まれ、1915年(大正4年)、金沢商業学校(現石川県立金沢商業学校)の13回生として卒業後、鈴木商店に入社しました。

鈴木商店ロンドン支店では、日商(現双日)創業者の高畑誠一の下に勤務。イギリスで覚えたゴルフは、囲碁と共に氏の終生の趣味となりました。アメリカ転勤後は、寺崎栄一郎ニューヨーク支店長の下で勤務しますが、1927年(昭和2年)鈴木商店は破綻。帰国後、寺崎氏が立ち上げた共栄商会(現在の共栄株式会社)に合流しました。

この『共栄五十年の歩み』では、会社の沿革のほか、鉄スクラップ取引との出会い、戦時中の東南アジアでの集荷、島文商店(現シマブンコーポレーション)との合併事業など、創業初期のことに広く触れており、弊社にとって貴重な回想録となっています。

響会会誌『ひびき』について

弊社の社員親睦会である響会は、1952年(昭和27年)に発足しました。年一回の社員旅行が主な活動でしたが、発足から16年を経た1968年(昭和43年)に会誌『ひびき』を創刊。初号から1998年(平成10年)の休刊まで40号まで作成されました。

鈴木商店時代の記録について

掲載記事で松岡氏が述べている通り、古い記録は戦災ですべて失われてしまいました。ニューヨーク支店時代のことを窺い知る資料として、銭高作五郎氏が『旅より我が家へ』の中でニューヨーク時代の寺崎氏・松岡氏に触れています。同著は、下記サイトから全文が閲覧可能となっています。コマ番号56(81ページ)を御参照下さい。

『旅より我が家へ』／近代デジタルライブラリー(国立国会図書館)
<http://kindai.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1170610>